

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	生活文化部
	17056	かめやま文化年事業	課名	文化スポーツ課 文化共生G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務科目	01:一般会計
	基本施策	06:文化芸術の振興と文化交流の促進	款	10:教育費
	施策の方向	02:文化交流の促進	項	05:社会教育費
	戦略プロジェクト	04:「ジモトノココロ」プロジェクト	目	07:文化振興費
事業予定期間		H 25 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等	

目的・概要	対象	市民、本市に関わるすべての人
	目的	<p>亀山市文化振興ビジョンに基づき、「市民の文化力の向上」「地域間交流の促進」「団体間の連携拡大」「新しい文化の創造」を目的として、3年に1度さまざまな文化に関する取り組みを集中して開催する「かめやま文化年」を実施する。</p> <p>【かめやま文化年2020】 令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年間)</p>
概要	<p>「かめやま文化年2020」では、「かがやく」をキーワードとして、これまで培ってきた文化に、さらなる創意工夫等を図り、文化資源の価値をさらに高めるとともに、参加する人等が自己実現により満足感や達成感を感じ、生き生きと輝ける事業を展開する。</p> <p>かめやま文化年プロジェクトの集大成となるかめやま文化年2020で、亀山市の文化を市内外へ発信する。</p>	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度計画	事業費	3,800千円	19,000千円	600千円
	国庫支出金			
年度実績	事業費	3,800千円	19,000千円	600千円
	国庫支出金			
事業の計画・実績	事業費	3,800千円	19,000千円	600千円
	国庫支出金			
計画額	事業費	3,800千円	19,000千円	600千円
	国庫支出金			
予算額	事業費	3,600千円	19,000千円	0千円
	国庫支出金			
決算額	事業費	2,147千円	8,878千円	0千円
	国庫支出金			
人件費	総人件費	23,547千円	17,276千円	0千円
	一般職員	23,547千円	15,678千円	0千円
人件費	所要人員	3.00	2.00	
	会計年度任用職員等	0千円	1,598千円	0千円
総コスト(+)		25,694千円	26,154千円	0千円
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	かめやま文化年2020の企画事業の参加者数(年間延べ人数)	計画値		27,000	
		かめやま文化年2017の企画事業の年間延べ参加者数(26,810人)以上を目標として設定	実績値		2,300	
			単位		人	
	名称	かめやま文化年プロジェクト推進委員会の開催回数	計画値	5	3	5
		事業計画の検討、事業実績の検証	実績値	4	6	
			単位	回	回	回
名称		計画値				
		実績値				
		単位				

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>かめやま文化年2020において、実施計画に基づき、多様な文化事業を集中的に実施する必要がある。また、多くの人の参画が得られるよう、啓発品の配布やSNS、メディア等を活用した情報発信を行う必要がある。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業中止により、文化交流の促進が図られにくい状況であったものの、啓発品の配布やフェイスブックやHPでの市内外への情報発信、メディアへの情報提供等を実施し、感染症対策を実施したうえで様々な人や団体が満足感や達成感を感じてもらえるような文化事業を実施した。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多くの事業が中止又は延期となったが、感染症対策を講じ、実行委員会での6回の協議のもと、計画していた44事業中、18事業を実施した。コロナ禍の中、自宅において亀山の文化を感じてもらえるよう、啓発品である「カメのぶんちゃんめり絵」の提供を行うほか、「高梁市との文化交流動画」、「かめやま文化大使の応援動画」等を制作し、行政情報番組やHPなどに掲載した。</p>	B まずまず実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>多くの事業が中止又は延期となったものの、実施した18事業を通じて、コロナ禍で活動する機会が減少した団体及び個人の発表の機会の提供や市内の歴史文化に触れる機会の提供を行うことが出来た。動画への文化大使の出演を通じて、かめやま文化年の機運を高めるとともに、高梁市との文化交流動画の制作を通じて、団体との文化交流の促進が図られた。</p>	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>「かめやま文化年プロジェクト」が令和3年度で終了となるため、「かめやま文化年プロジェクト」の今後について検討する必要がある。</p>	<p>今後の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他</p> <p>【その他の場合、その内容を記載】 令和2年度でメインとなる事業は完了 令和3年度は検証・記録のみ</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>「かめやま文化年プロジェクト」の今後の在り方について、令和3年度に策定予定の文化芸術推進基本計画に合わせて検討する。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>新たな文化交流を促進する事業を展開することで更なる亀山市の文化振興に繋がる。</p>	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 文化共生グループリーダー 松岡 保範
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小森 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	B	
	成果	B	B	A	B	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		19,000 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	19,000 千円
	令和3年度への繰越額	千円